



明治学院大学機関リポジトリ
<http://repository.meijigakuin.ac.jp/>

Title	東アジアにおける歴史認識とアイデンティティ構築
Author(s)	竹尾, 茂樹
Citation	明治学院大学国際学部附属研究所研究所年報 = Annual report of the Institute for International Studies(7): 31-33
Issue Date	2004-12
URL	http://hdl.handle.net/10723/466
Rights	

東アジアにおける歴史認識とアイデンティティ構築

竹尾 茂樹

本年度の活動の柱は次の3つであった。

- 1) 沖縄県八重山地方における伝統文化と開発のあいだの諸問題について
- 2) 沖縄の今をいかに表象するか 映像・オーラルヒストリー・小説ほか
- 3) 台湾の政治文化と先住民の位置

1) については、稲作の生産サイクルを中心にした伝統的なコミュニティの年中行事やそれにもなう物質および精神文化（染織・民具・歌謡・奉納芸能など）の観察を継続して行ってきた（西表島祖納における豊年祭・シチ祭り等の参与観察）。同時に近年、亜熱帯の離島の豊富な自然資源を利用するエコツーリズムやオルタナティブな産業の試み（有機農業など）にも注目を払ってきた。今年とはとくに、西表島におけるリゾート開発問題が引き起こした「開発と環境維持」の問題に集中的に取り組んだ。開発行為が、島嶼の地域社会にどのような社会変動をもたらしうるか、またそれがアイデンティティの再構築にどのような影響を与えるか、について生態学者・プランナー・環境法の専門家などの意見を聴取、意見交換を行った。（西表島開発問題勉強会①-⑩）

2) については、沖縄と八重山地方を中心に、伝統的な生業に結びついたさまざまな精神と物質文化（染め織り、民謡、神行事、奉納舞踊、狩猟・漁労法）などを継続・観察してきた。

こうしたそれぞれの日常の中の文化は、継承の困難という問題をかかえながら、しかしこのアイデンティティ形成のかけがえのない構成要素になっていると思われる。

さらに、沖縄本島においては「戦争の記憶」が別のアイデンティティ構築の共通要素にもなっている。物故者があいつぐなか、沖縄戦の生存者の経験を方言でビデオ収録する作業を続けている写真家比嘉豊光の仕事に注目した。どうじに、沖縄のいまを語ることに於いて批評的な視点を模索し続けている作家目取真 俊・文芸批評家新城 郁夫にも関心を払ってきた。

3) については、国民党から民進党への民主的なプロセスによる政権移譲をおこなう未曾有の政治的な変動期を迎えている台湾の政治状況を、台湾人としての歴史認識が表現された企画展なども含め、地域差に注目しつつ視察した。どうじにマイノリティーたる台湾先住民の作家による彼らの表出行為に注目、国際シンポジウムを共催した。こうした東アジアのマイノリティーによる自己表出の営みについて、2004年度にも継続したシンポジウム等の催しを計画している。

2003年度の主な活動は以下の通りであった（竹尾・高原）

4/6 （日） 「台湾原住民族との交流会」定例研究会参加

- 4/19 (土) Earth Day2003 東京にブース出展。西表の開発問題関連。校外実習履修ゼミ生・NGO 団体と共催。
20 (日)
- 4/27 (日) 西表を考える会(横須賀)に参加。
- 4/28 (月) 公開授業(比較文化論 竹尾担当)
石垣金星(郷土史家)「西表の暮らしと年中行事」
- 4/29 (火) 西表開発問題について 勉強会開催(勝どき)①
海津ゆりえ(アースデザイン研究所)。山本真人(需要研究所)他と
- 5/6 (火) 守れ!西表島@地球環境パートナーシッププラザ(青山)
ワークショップ参加② 岩田 薫(日本環境保護連盟)他と
- 5/24 (土) 公開講座「病いと癒しの歴史」(大木昌コーディネーター)
講演「沖縄における病と癒しの歴史」(竹尾)
- 5/30 (金) 戸塚まつり開催中に「西表島の開発問題ワークショップ」開催③
講師 石垣金星(郷土史家)
- 6/2 (月) 作品展「西表の風 布と三線」に参加。西表島の染色作家亀田恭子、
古典民謡伝承者宮良用範、木工芸作家奥田 武各氏に取材・交流。
- 6/8 (日) 西表開発問題勉強会④ (市ヶ谷) 井口 博弁護士(環境法律家同盟)他
- 6/11 (水) 同上⑤日比谷 Dr.S.Harley、青柳 寛(国士舘大学)他
- 6/22 (日) NGO「ゆいまーる沖縄の会」において講演(竹尾)「西表のリゾート開発の現状と問題点」
- 6/24 (火) 西表の染織作家 石垣昭子展参加・交流(青山)
- 6/26 (木) 同上 ワorkshop参加
- 7/3 (木) 公開授業(比較文化論) 藤岡亜美(スローウォーターカフェ代表)「西表とエクアドルをつなぐ コーヒーのフェアトレード・エコツーリズム」
- 7/4 (金) 西表開発問題勉強会⑥ (市ヶ谷)
- 7/17 (木) 西表島開発問題勉強会⑦ 環境アセスメントについて (市ヶ谷)
越智敏裕弁護士(環境法)他と
- 7/20-30 西表・沖縄調査 豊年祭行事(プリヨイ)・エコツーリズムなど
- 8/5 (火) 西表開発問題勉強会⑦ (市ヶ谷)
- 8/6 (水) 同上⑧ 環境 NGO にブリーフィング(渋谷) ASEED JAPAN 他
- 9/9-25 沖縄・奄美フィールドスタディー(校外実習)
- 10/2 (木) 西表開発問題勉強会⑨ (市ヶ谷)
- 10/4 (土) 西表伝統民具ワークショップ 星 公望(工芸家)ワークショップ参加(本八幡)
- 10/5 (日) 「台湾原住民族との交流会」勉強会 国際シンポジウム打合せ
- 10/9 (木) 西表開発問題勉強会⑩ (市ヶ谷)
- 10/10-13 山形ドキュメンタリーフィルムフェスティバル(沖縄特集部門参加)。
ドキュメンタリー作家 比嘉豊光他インタビュー

- 10/19 (日) 西表開発問題勉強会⑪ (渋谷) 馬場繁幸 (琉球大学)・宮武雅子弁護士 (環境法律家同盟) 他
- 10/21 (火) NGO ナマケモノ倶楽部 西表の開発問題ブリーフィング (亀戸) 第1回
- 10/24 (金) 西表開発問題勉強会⑫ (虎ノ門)
- 10/29 (水) 西表開発問題勉強会⑬ (市ヶ谷)
- 11/7 (金) 西表開発問題勉強会⑭ (市ヶ谷)
- 11/9 (日) 台湾現代文学国際シンポジウム 白金キャンパス
うち「台湾原住民文学フォーラムー魂の文学にふれる」をプロジェクトとして共催。
原住民作家 ワリス・ノカン (タイヤル族)・シャマン・ラポガン (タオ族) 報告
- 11/10 (月) NGO ナマケモノ倶楽部 西表の開発問題ブリーフィング (亀戸) 第2回
- 11/15 (土) 西表の開発を考える ワークショップ開催 白金キャンパス
- 11/16-19 西表調査 セバン・スズキ (環境運動家)、NGO ナマケモノ倶楽部と。
- 11/22-26 同上 伝統行事 シチ祭り調査 (継続)
- 2/10 (火) 西表開発問題勉強会⑮
- 2/20-24 大阪調査 関西沖縄文庫・大阪人権博物館・あいりん地区巡見など。
- 3/18 (木) 西表開発問題勉強会⑯ 大阪

高原調査

2004 3/16 (火) ~3/20 (土)

台湾に出張、台北、台南を調査。

- 3/16 台北市「立享文化事業有限公司」葉銘動氏、周萍氏の案内で、民主化後の台湾社会を若手の芸術家が表現した「大趨勢」展を見学。
- 3/17~18 明治学院大学同窓会台湾支部長の蔡玉柱氏の案内で、「台湾人」意識が強いとされる台南に赴き、総統選挙前の状況を視察。植民地時代の台南市役所の建物に新設された「国立台湾文学館」にて、歴史認識に関わる日本統治時代の建築物に関する展示「旧建築、新生命」、さらに日本語作品の客観的評価がなされた特別展「台湾文学百年顕彰」を見学。この他、植民地時代に神社となっていた鄭成功廟 (延平郡王祠) や、オランダ統治時代の遺蹟もめぐる。
- 3/19 東呉大学の日本語ディベートを観戦。講師の長田正民氏 (明治学院大学社会学部卒業生)、日本語文学系主任 (日本文学科長) 陳淑娟教授と意見交換。

(以上)

※本報告書は国際学部付属研究所共同研究「東アジアにおける歴史認識とアイデンティティ構築」の中間報告書である。